



Salone del Mobile.Milano 2016: プレビューリリース

Salone del Mobile.Milano 2016 : クオリティーという名の見本市

第55回目を迎えるサローネ・デル・モービレ・ミラノ。世界中が待ち望む中、高品質を誇るショーケースのプラットフォームは、2016年もロー・フィエラミラノにて4月12日(火)から17日(日)まで開催予定。今年も平日は160カ国以上から30万人以上の業界関係者を、土日の一般解放日には、3万人以上の一般来場を見込んでいます。また、今年の3大特別展示では、インテリアの哲学を題材にした展示、建築建材関連の展示、クラシックをテーマにしたマッテオ・ガローネ監督の短編映画が、ミラノの街全体を巻き込んで展開します。

もはや業界の「マスト・イベント」であるサローネ・デル・モービレは、その展示品とサービスに於いて高品質を誇り、ミラノがデザインを中心であることを世界から再認識されています。このビジネスチャンスの場では、昨年だけでも、2億2,100万ユーロの収益をもたらしました。

今年も20万7千㎡の出展スペースは全て完売。総出展者数は2,310社。サローネサテライトの参加デザイナー650人。海外からの出展社は全体の30%を占め、クリエイションと革新と技術が新たな生活スタイルを提案します。

「第55回目となる今年は、国際色豊かな見本市となる。」と語るのは、ロベルト・ズナイデロ社長。「業界関係者の70%が160カ国から訪れ、国内外のトップブランドが、併催イベントでそれぞれの生活文化を交えて展示する。国際化とイノベーションは、今年、一番注目するところ。実際、サローネ出展社の輸出高は63%。そのうち67%の企業は、過去3年の間に、機械や備品、ソフトウェア、リサーチ、新商品の開発に投資している。」

「サローネ・デル・モービレは、イタリア国内の見本市でも最も重要な見本市だ」と語るのは、カルロ・カレンダ経済開発副大臣。「全てをラインアップするこの家具見本市では、クオリティーの高い革新的な商品を海外のマーケットへ自信を持って紹介できる。当初よりICE(イタリア貿易振興会)が推進を強化する見本市として名を掲げてきた。家具業界は近年、勢いを取り戻している。2015年の総輸出高は6%に近づいている。政府の継続的な支援により、国内でも数字は伸びている。安定法の改正により、ある条件のもと若い世代の家具購入時の税額控除が導入、また、ICEの協力や経済発展省の『メイド・イン・イタリア特別計画』から支援を受け、イタリア家具の海外販売促進を強化している。」

「55周年を迎える今年は、ミラノ市にとっても特別な年となる。」と語るのはジュリアーノ・ピザピア ミラノ市長。「20年振りにミラノ国際トリエンナーレ展が幕を開け、『デザイン・アフター・デザイン展』が開催される。この春は2大イベントの開催で、ミラノはまた世界中から注目を受けるだろう。4月12日から17日までは、サローネ・デル・モービレとフオーリサローネが、ミラノ市内の広場や通りを埋め尽くし、デザイン関係者や観光客など多くの人を巻き込むお祭りの一週間となるだろう。」

4月12日(火)から17日(日)まで、ロー・フィエラミラノで開催されるのは、まずサローネ国際家具見本市、サローネ国際インテリア小物見本市。出展社数1300社以上、15万㎡以上の面積を有し、クラシック部門とデザイン部門に分かれて、あらゆるタイプの家具とインテリア小物を360度網羅します。

アメリカ市場で特に人気の高いラグジャリー・ブランドを集めた新部門、「xLux」がパビリオン3に新登場。「エクストラ・ラグジャリー」を意味する。昨年まではクラシック部門、デザイン部門の様々なパビリオンに分かれて出展されていたブランドが、来場者の要望に応じて今年から一つに。とりわけファッションブランドからお馴染みのブランドとして、ボルボネーゼ、フェンディ、フェレ、ポール・マシュー、ロベルト・カヴァツリ、ウンガロ、ベルサーチなど。更に、海外ブランドではアストン・マーチン、リッツ、そしてトニーノ・ランボルギーニもxLux部門に入ります。

奇数年の隔年開催見本市は、エウロクチャーナとFTK(テクノロジー・フォー・ザ・キッチン)がパビリオン9-11、13-15にて、サローネ国際バスルーム見本市がパビリオン22-24にて開催。

エウロクチーナは、2万3千㎡の巨大スペースに120社が出展、常に消費者から求められるより優れた機能を備えた高品質のキッチンが一堂に会します。注目素材はステンレスや天然石。更なるキッチン機能の向上を求める消費者のニーズに応えた高品質キッチンが登場。FTKは、40社が1万2千㎡を占有し、電化製品やレンジフードが一体化したハイテク・キッチンを発表。

サローネ国際バスルーム見本市は、1万9千㎡の展示会場に200社が出展します。自宅のバスルームにより快適な空間が求められるようになり更に進化します。

第19回目を迎える35歳以下の若手デザイナーの展示、サローネサテリテは、エウロクチーナと同じパビリオン13-15にて。カーゴ4番からは無料で入場できます。今年のテーマは「New Materials, New Design」。参加者は選考委員会によって選ばれます。第7回サローネサテリテ・アワードは、サローネサテリテ出展者と見本市出展企業との結びつきを更に密接なものとする絶好チャンスです。今回開催される隔年開催見本市 - エウロクチーナとサローネ国際バスルーム見本市 - に準じて製作された出展作品の中から優秀なプロトタイプが選ばれます。

「ビジネスと文化を結ぶ」ことが見本市のフィロソフィーにあるように、第21回トリエンナーレ展では、「ルーム:新しいドメスティック・ランドスケープ」と題し、ベッペ・フィネッシのキュレーションによる展示を2016年4月2日から9月12日までトリエンナーレ美術館にて開催予定。サローネ・デル・モービレ・ミラノは、第21回トリエンナーレ展の出展者として一番に挙手し、イタリア家具業界の第一人者であるイタリア家具工業連盟として、外務省と、ミラノ・トリエンナーレと、イタリア産業総連盟を後ろ盾に、インテリア・デザインをテーマに未来の暮らしのビジョンを展開します。

今年のサローネ・デル・モービレ・ミラノでは、「ビフォー・デザイン:クラシック」と題したイベントを行います。コンテンポラリー・インテリアに宿るクラシックの真髄を映し出した短編映画。数々の賞を受賞しているマッテロ・ガローネが監督。フィエラ会場の15パビリオン F15-H18で上映。「メイド・イン・イタリア」の痕跡を辿るバーチャルな旅の世界へ。アートディレクションはCiarmoli Queda スタジオ。

市内では、サローネ・デル・モービレ・ミラノの併催展示として、イタリア家具工業連盟主催の隔年開催の国際建築デザイン建材見本市、「MADE expo」がオーガナイズする「スペース&インテリアズ」を展開。会場は - プレラ・デザイン地区の「ザ・モール ポルタ・ヌオーヴァ」。会場の床、ドア、インテリア小物等はミリオール+セルヴェット・アーキテクトのキュレーション。

見本市閉幕後には「サローネ・デル・モービレ・ミラノ・アワード」が今年より始まります。デザイナー、若手デザイナー、キッチン、家具、バスルーム、展示デザイン、クラシック家具の分野に分かれて審査され、5月4日に受賞が発表されます。

更に、新しい広告キャンペーンが非常に高い芸術的レベルで登場。どこか懐かしいデザインの中にアイデンティティがしっかりと刻まれています。イタリア語のスローガンは英語と違い、「If you're not there, you should be」という意味の表現が、コミュニティーにとっての「sine qua non = 必須条件」な存在であることをアピールしています。WEBプラットフォームも最先端デザインで完全にリニューアルされました。(www.salonemilano.it 伊英語)最新デジタル・コミュニケーション・ツールとして、サイト利用者、来場者、出展者が、会期前、会期中、そして会期後を通してインタラクティブに対応します。

この55回目となる見本市は、広告分野への大きな投資によって「ビッグ・ブランド」としてのコンテンポラリー・アイコンを生み出し、Salone del Mobileにとって、新たな歩みへの第一歩となるでしょう。また、ICE (イタリア貿易振興会)とのパートナーシップにより、2016年プロモーション計画は、更なる海外からの来場者集客と、質の高いB2B コンタクトの増強を目指しています。

サローネ・デル・モービレ・ミラノに関する情報は、SNSでもアクセスできます。フェイスブック、ツイッター、リンクトイン、YouTube、フリッカー、ピンタレストにて配信。また今年からインスタグラムも登場。オフィシャル・ハッシュタグは#SaloneDelMobile. その他、エウロクチーナは#EuroCucina、サローネ国際バスルーム見本市は #SaloneBagno、FTK フューチャー・テクノロジー・キッチン見本市は #FTK、そしてサローネサテリテは #SaloneSatellite。

更には3月より開始予定のアプリ、App Salone del Mobile.Milano 2016 も、iPhone、iPad、アンドロイドでご利用いただけます。